

第63回日本透析医学会学術集会・総会 シンポジウム12
2018年7月1日(日) 15:00-17:00
第18会場(神戸国際展示場1号館 2F 展示室A)
テーマ:透析患者のQOLとフットケア
演題番号:SY-12-1

透析患者の生活とフットケアの実際

坂 さとみ 川原田 貴士 水内 恵子
松岡 一江 梶本 宗孝 安田 透 池田 潔

医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis



目次

1. はじめに
2. 当院外来維持透析患者の背景
3. 実際のフットケア
4. 症例提示
 - 症例① コレステロール塞栓症患者のケア
 - 症例② フットケアと透析中のS P P
5. おわりに

目次

1. はじめに

2. 当院外来維持透析患者の背景

3. 実際のフットケア

4. 症例提示

症例① コレステロール塞栓症患者のケア

症例② フットケアと透析中のSPP

5. おわりに



はじめに



医) 心信会 池田バスキュラーアクセス・透析・内科



➤ 当院の特徴

- バスキュラーアクセス専門外来を有したクリニック
- 維持透析、在宅透析、腎不全保存期外来
- 全身の動脈硬化疾患polyvascular diseaseに特化した管理・ケアを行っている。

➤ 患者の特徴

- 外来：VAトラブル患者、穿刺困難による受診者が30%を占めている。（他は腎不全保存期）
- 福岡市の中心部に立地しているため患者の平均年齢が低い。



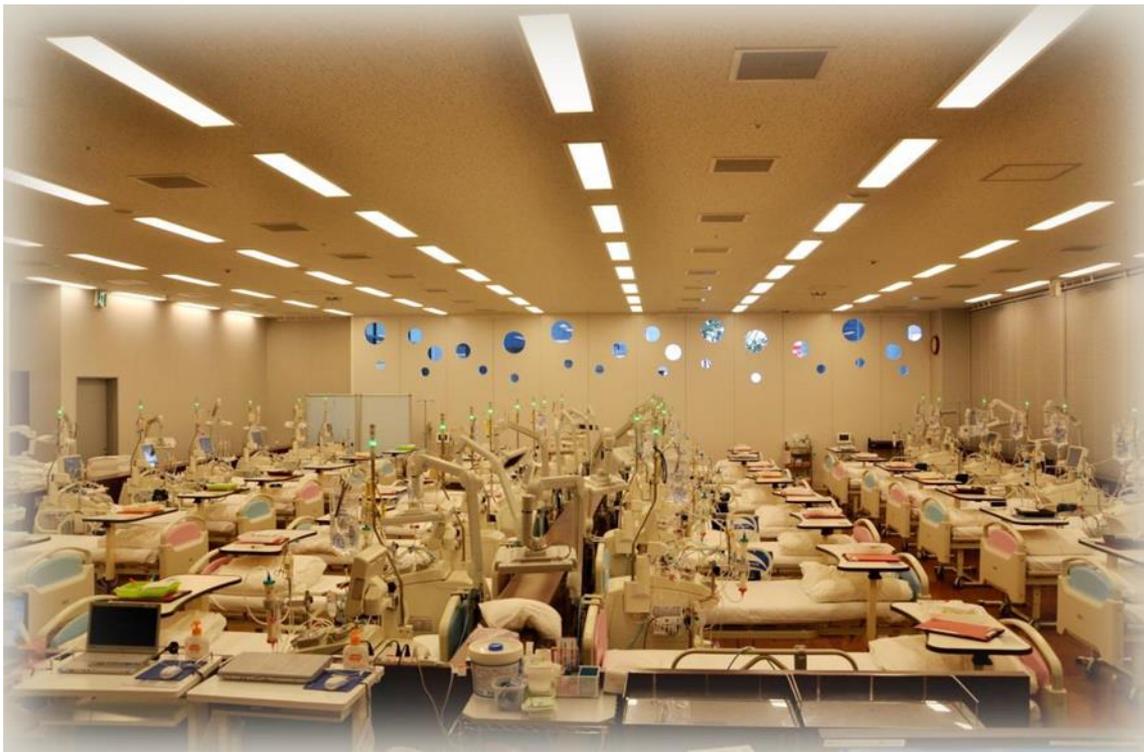
医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

透析室 1F33床・2F13床・有料個室3室

(On Line HDF対応
コンソール39台)



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

目次

1. はじめに

2. 当院外来維持透析患者の背景

3. 実際のフットケア

4. 症例提示

症例① コレステロール塞栓症患者のケア

症例② フットケアと透析中のSPP

5. おわりに

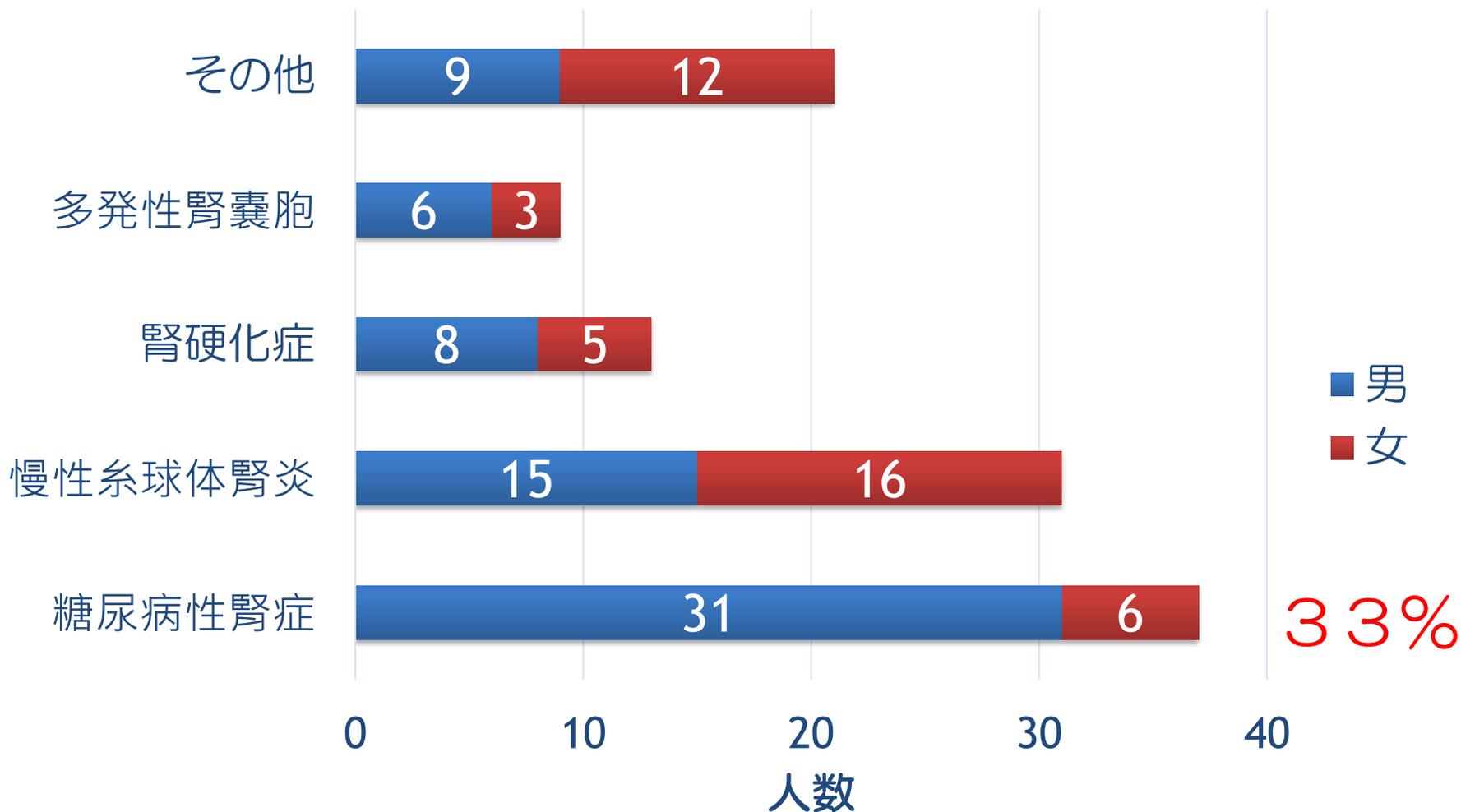


図1：維持透析患者の平均年齢：全国比較

	2018.5	2016 JSDT	全国平均 との比較
全患者平均 年齢（歳）	62.3±12.8	68.15	<u>-5.9</u> （歳）
男性平均年齢 （歳）	61.5±12.0	67.34	<u>-5.8</u> （歳）
女性平均年齢 （歳）	63.5±14.2	69.61	<u>-6.1</u> （歳）

図2：維持透析患者の原疾患別分類

n=111



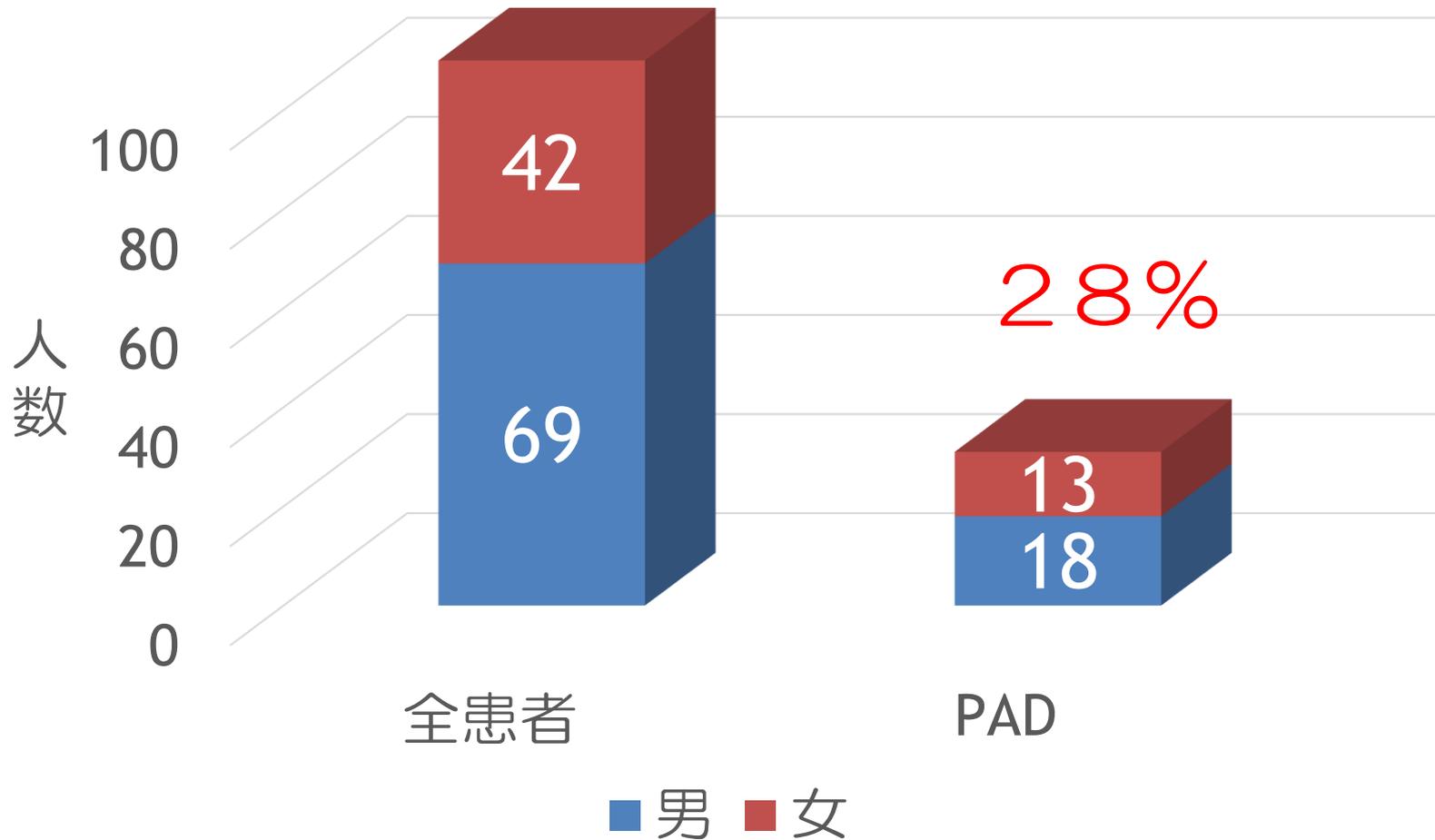
2018/5現在



医療法人 心信会
池田バスキュラーアクセス・透析・内科
Access/Nephrology/Dialysis

図3：維持透析患者の内訳

n=111



2018/5現在



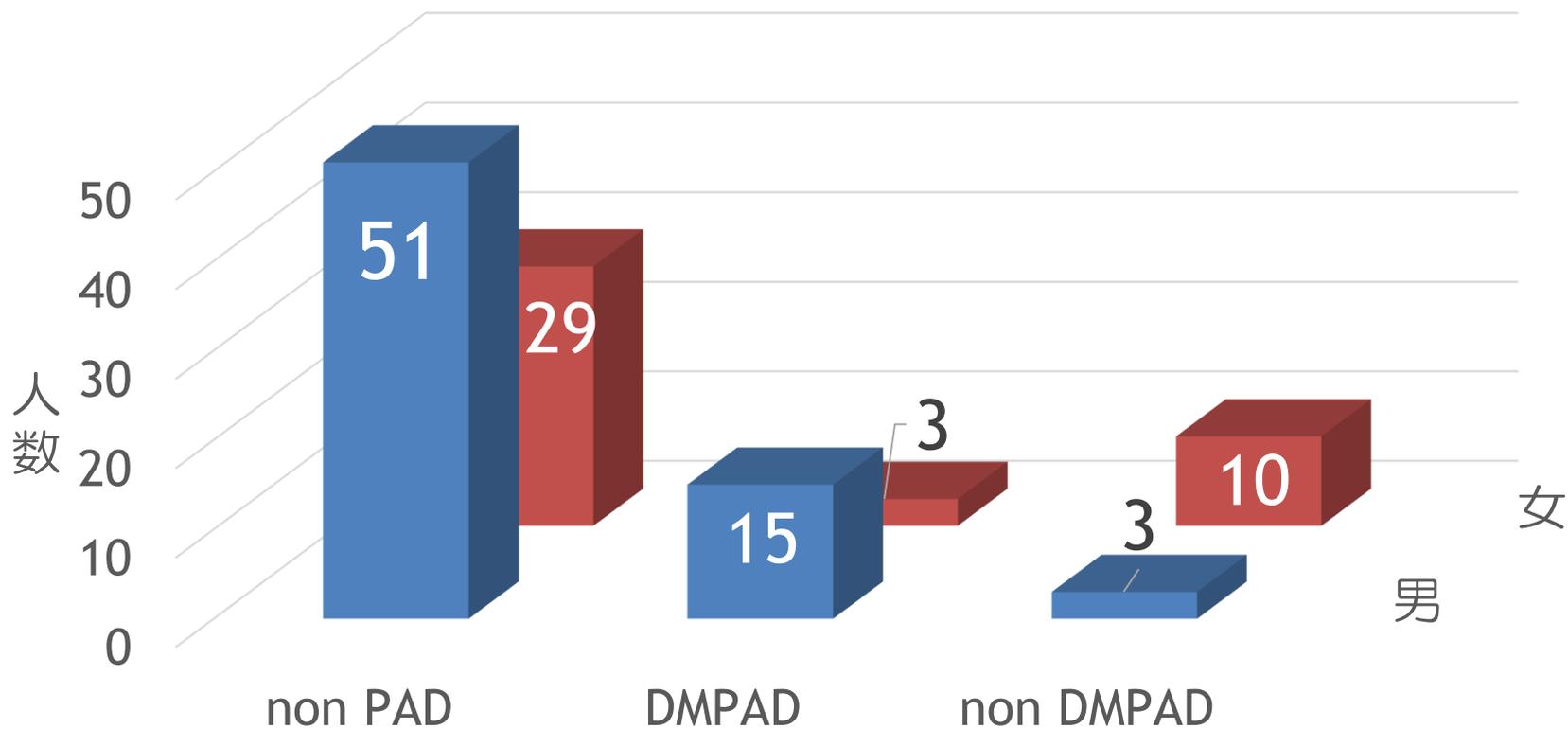
医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

図4：維持透析患者のPAD患者

n=111



2018/5現在



医療法人 心信会
池田バスキュラーアクセス・透析・内科
Access/Nephrology/Dialysis

維持透析患者のPAD患者の推移

PAD患者の早期発見への取り組みによって

2017.6 19.2% → 2018.5 28.0%

患者数の増加理由

足の異常を早期に発見するようになったこと

- ①看護師教育：全員にフットケアの重要性や観察ポイントについて教育した。
- ②患者教育：フットケアの重要性と全患者の足を観る必要性を説明し、協力を依頼した。

図5：PAD患者の心疾患合併率

n=31

- IHD : 虚血性心疾患
- AS : 大動脈弁狭窄症
- AAA : 腹部大動脈瘤

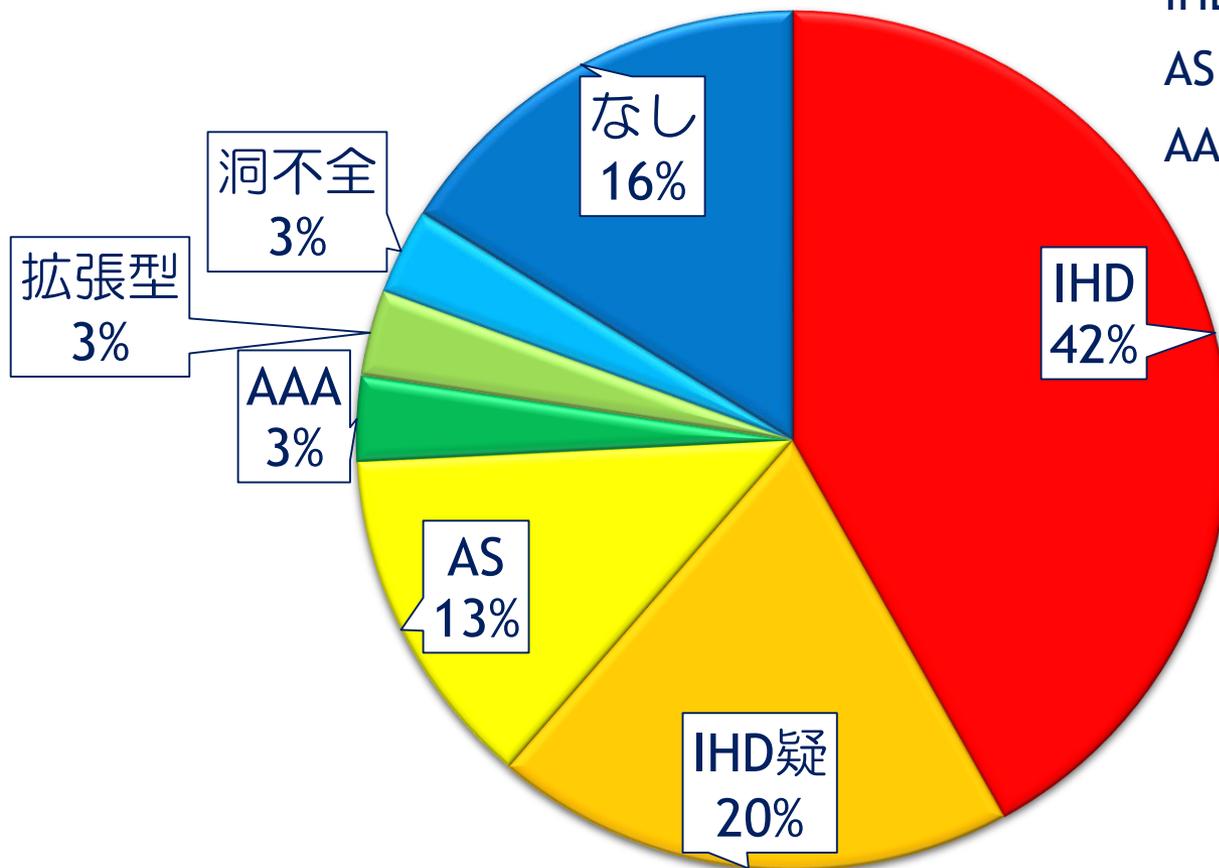
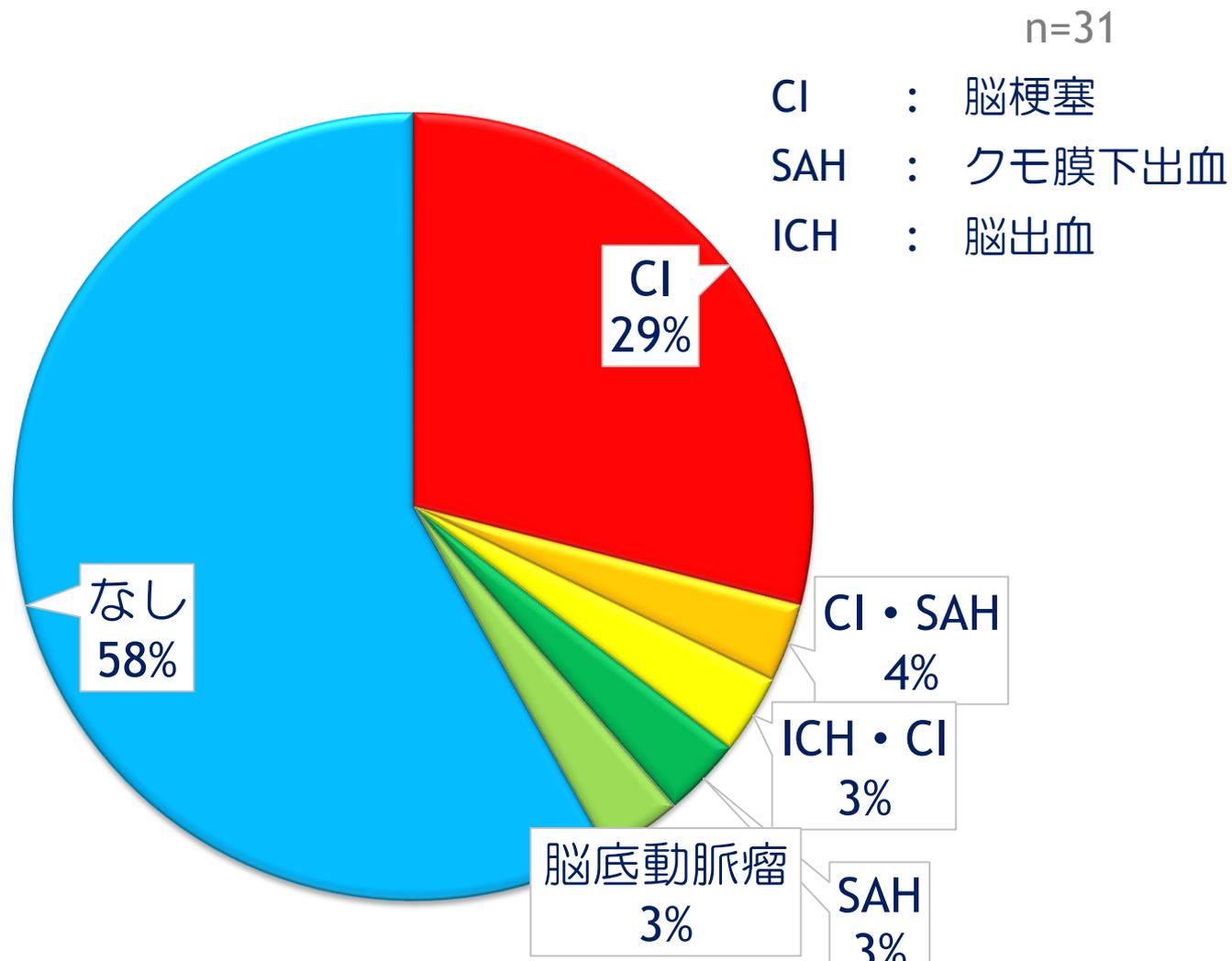


図6：PAD患者の脳血管疾患合併率



2018/5



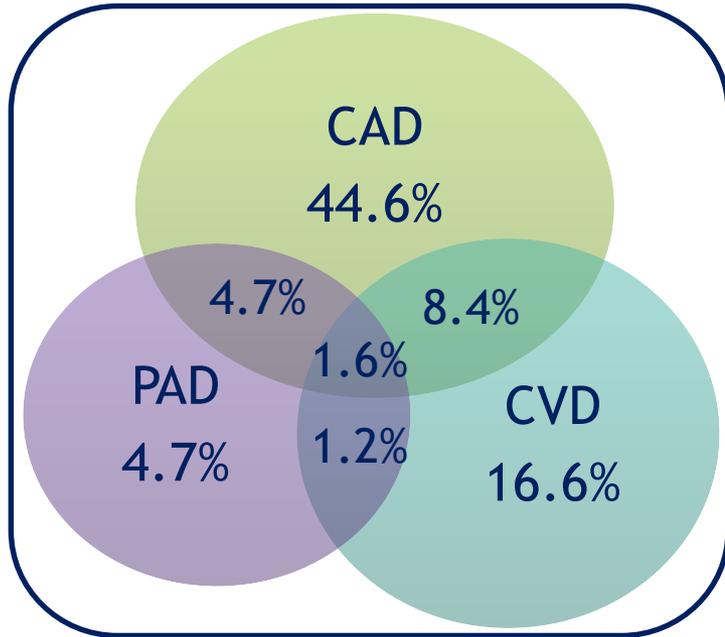
人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

図7：全身性動脈硬化性疾患 polyvascular disease

REACH Registry



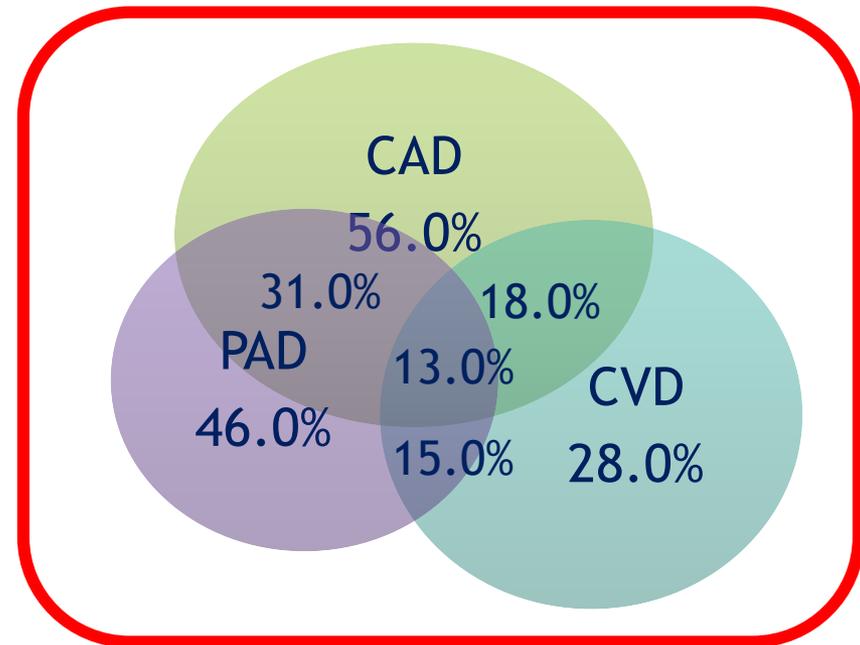
n=39

CAD : 冠動脈疾患

CVD : 脳梗塞

PAD : 末梢動脈疾患

当院維持透析患者 45歳以上・DM



維持透析患者背景のまとめ

- # 1 当院外来維持透析患者のPADは28%であった。

- # 2 心疾患・脳血管疾患の患者の多くはPADを合併している。
症状を訴える前からの、
早期発見・早期介入が必要である。

目次

1. はじめに
2. 当院外来維持透析患者の背景
- 3. 実際のフットケア**
4. 症例提示
 - 症例① コレステロール塞栓症患者のケア
 - 症例② フットケアと透析中のSPP
5. おわりに

実際のフットケア

1. フットチェック

全ての患者のチェック

循環器Drの回診（2回/月）

形成外科Drの回診（1回/月）

2. フットケア

看護介入として

透析中に両下肢洗浄と両下肢保湿を施行

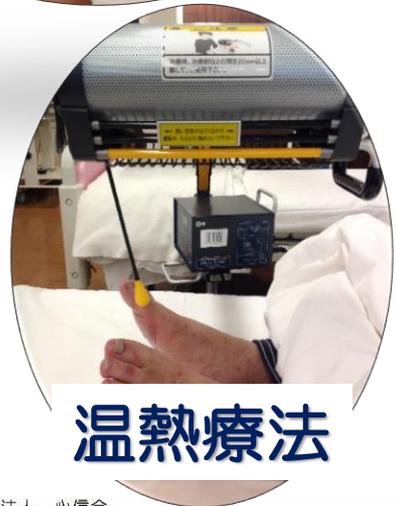
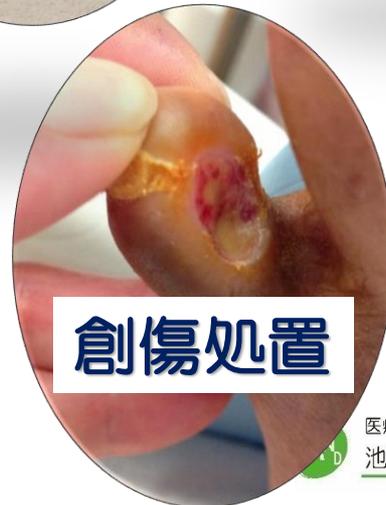
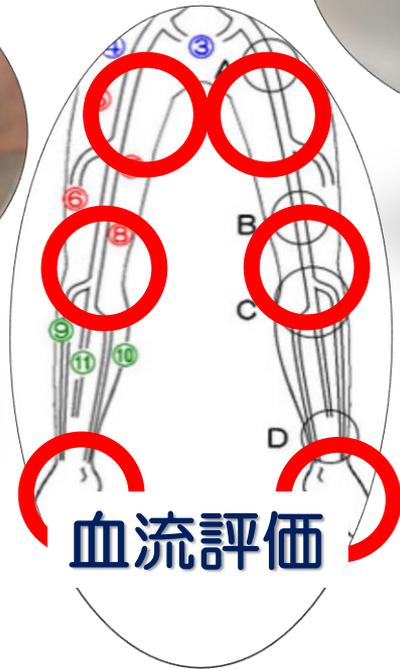
3. 患者教育

集合教育（院内学習会の開催：2回/年）

フットチェック・フットケア時の指導



実際のフットケア



実際のフットケア：見るポイント

- 観る みる 目でよく観察をする
- 聴く きく 話を傾聴する
- 触る さわる ふれる
- 嗅ぐ かぐ においはどうか
- 測る はかる 計測する
- 撮る とる 写真に撮る
- 残す のこす 記録に残す

目次

1. はじめに
2. 当院外来維持透析患者の背景
3. 実際のフットケア
- 4. 症例提示**
 - 症例① コレステロール塞栓症患者のケア**
 - 症例② フットケアと透析中のSPP
5. おわりに



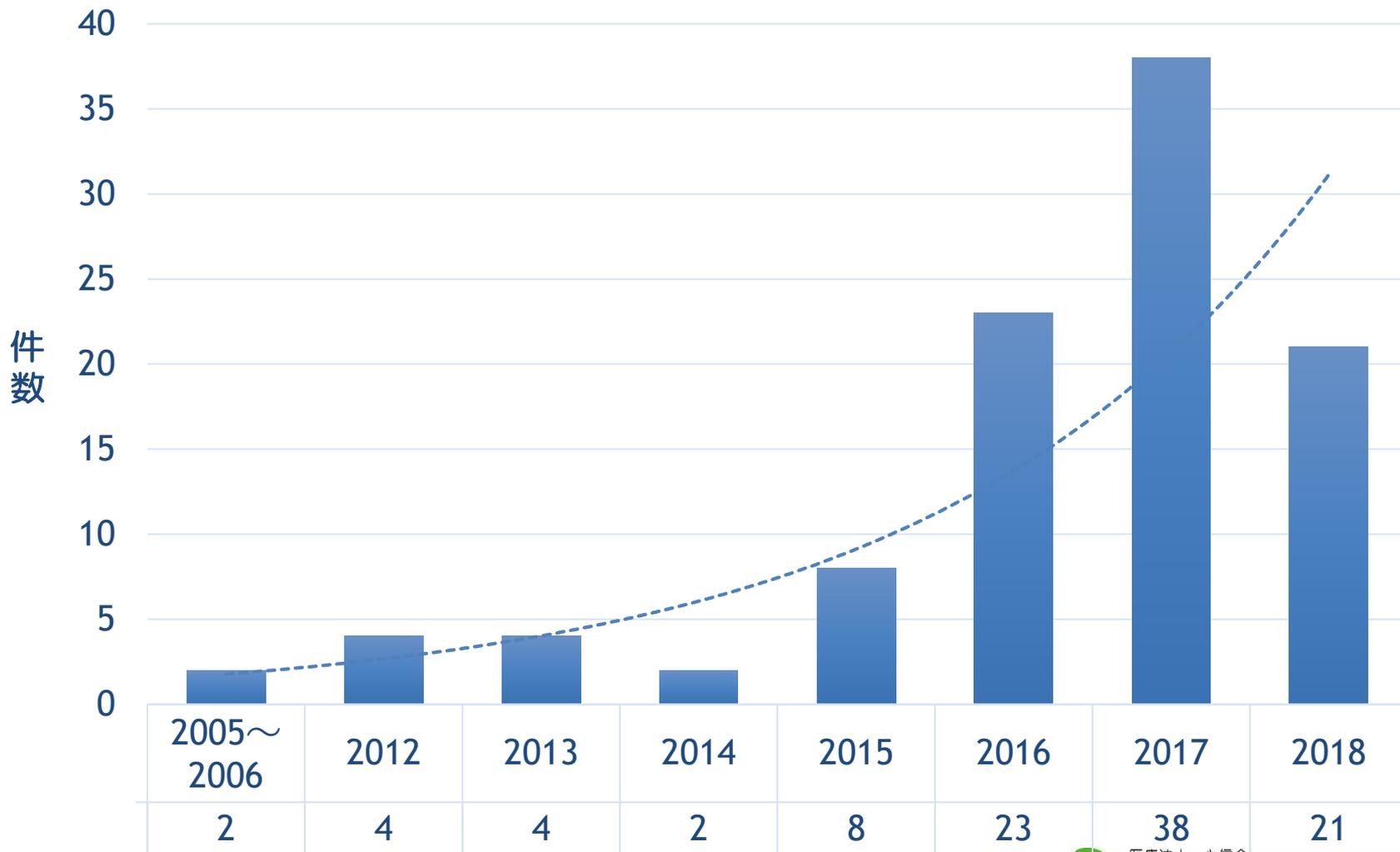
コレステロール塞栓症(CCE)の誘因と治療

誘因：Cholesterol crystal embolism（以下CCE）は、**大動脈内壁の粥状硬化巣の崩壊**により針状コレステリン結晶，あるいはフィブリン微小血栓が飛散して，**全身の末梢動脈を閉塞**することによって生じる疾患であり，**近年の血管カテーテル検査**および治療の普及によりその**合併症としての重要性が注目されている。**
血管内操作や抗凝固療法・血栓溶解療法などの続発性の要因が大部分を占める。

治療：PG製剤，HMG-CoA還元酵素阻害剤の投与などで経過が改善しない症例では，ステロイド療法**LDLアフェレーシス**の併用が有効である可能性がある。

図8：当院維持透析患者のカテーテル件数

(延べ)



2018/5



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

症例① コレステロール塞栓症患者のケア

- 74歳 女性 PADスコア：15点
- 原疾患 慢性糸球体腎炎
- 透析歴：31年
- 既往歴 大動脈弁狭窄症
- 主訴 両下肢の冷感・痺れ
透析時悪化
創傷発生なし

実際のフットケア介入

経過

2017/9/4

右前脛骨動脈・後脛骨動脈完全閉塞
真腔をとらえることが困難
足背スパズムで治療断念

2017/10/2

左前脛骨動脈完全閉塞
バルーン拡張

SPP 左足背：84 左足底：14
右足背：43 右足底：13

実際のフットケア介入

経過

2017/11/1
右前脛骨動脈・後脛骨動脈カテーテル
真腔をとらせる
足背スパスマ

2017/11/15
左前脛骨動脈カテーテル
バルーン拡張
SPP 左足背：8mmHg
右足背：4mmHg



**2回目の
カテーテル治療から2週間後**



実際のフットケア介入

経過

2017/9/4
右前脛骨動脈・後脛骨動脈
真腔をとらえること
足背スパムで治

2017/10/2
左前脛骨動脈完全閉塞
バルーン拡張
SPP 左足背：84
右足背：43



翌日緊急受診をしましたが、現段階
ではblue toeは否定的と診断

実際のフットケア介入

傾聴

観察

アセスメント

愛護的に両下肢
を洗淨

疼痛強く
創傷へと進行

透析毎の
保湿ケア





1ヶ月後



2ヶ月後



3ヶ月後



4ヶ月後

フットケア介入後の経過

経過

2017/9/1
右前脛骨動脈・後脛骨動脈
真腔をとらえること
足背スパムで

2017/10/1
左前脛骨動脈再閉塞
バルーン拡張
SPP 左足背：84
右足背：43 右足底：13

2018/1/9
左前脛骨再閉塞バルーン拡張

2018/3/23・2018/4/9
左膝窩動脈-足背動脈バイパス・右膝窩動脈-前脛骨動脈バイパス

2018/4/16
左第1・3・4足趾・右第2・4・5足趾切断術



LDLアフェレーシス コスト表

【手技料】 血漿交換療法 1日につき4,200点

【消耗品】 肺°ローバ -LA-15 82,100円/ (償還価格)

サルワックス (回路込み) 29,000円/ (償還価格)

賦活液 500円/ (保険請求不可)

これができたら変わっていたのか？

2) ca3mEq入りの電解質溶液

3~4L (血漿処理量と同量) / (保険請求可)

3) 抗凝固剤/ (保険請求可)

4) マシンレンタル料 15,000円/回 (定価、保険請求不可)

※高額治療で福岡では実施されておらず

 KANEKA
MEDICAL
PRODUCTS
患者様の笑顔のために



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

症例① 結果・考察

- 早期発見しても、適切な治療が受けられなかった。
- 発症から6ヶ月で、両足趾切断となった。
 - 塞栓症の場合は、血行再建の効果も乏しい
 - 動脈カテーテル挿入などの血管内操作を避ける必要があるが、重症下肢虚血を合併しているので困難
(文献：独立行政法人国立国際医療研究センター一部抜粋)
 - 地域によっては可能な治療だが、
地域によっては現実的に困難？
 - 診療報酬の問題か？

⇒ どうすればよかったのか？

下肢救済認定師、フットケア指導士である看護師として

非常に悔しい結果

ケアでは限界か？

目次

1. はじめに
2. 当院外来維持透析患者の背景
3. 実際のフットケア
- 4. 症例提示**
 - 症例① コレステロール塞栓症患者のケア
 - 症例② フットケアと透析中のS P P
5. おわりに



症例② フットケアと透析中のSPP

- 57歳 男性 PADスコア：15点
- 原疾患 糖尿病性腎症
- 透析歴：9年
- 薬物療法：インスリン＋内服
- 主訴：透析中の下肢痺れと
足底の引っ張られ感、痛み

症例② 血管合併症の状態



両眼：増殖糖尿病網膜症
硝子体出血後



脳：大脳皮質に広範な
慢性虚血性変化



末梢神経：
糖尿病性
神経障害性疼痛



下肢：左総腸骨動脈
高度狭窄



心：Seg7 100% 狭窄
Seg4 90% 狭窄
Seg4PD 99% 狭窄
Seg4AV 99% 狭窄

症例② 足の状態



：左総腸骨動脈
高度狭窄



透析中足底の痛みが強く、湿布を貼っている。
→ 透析中の下肢血流評価を実施。

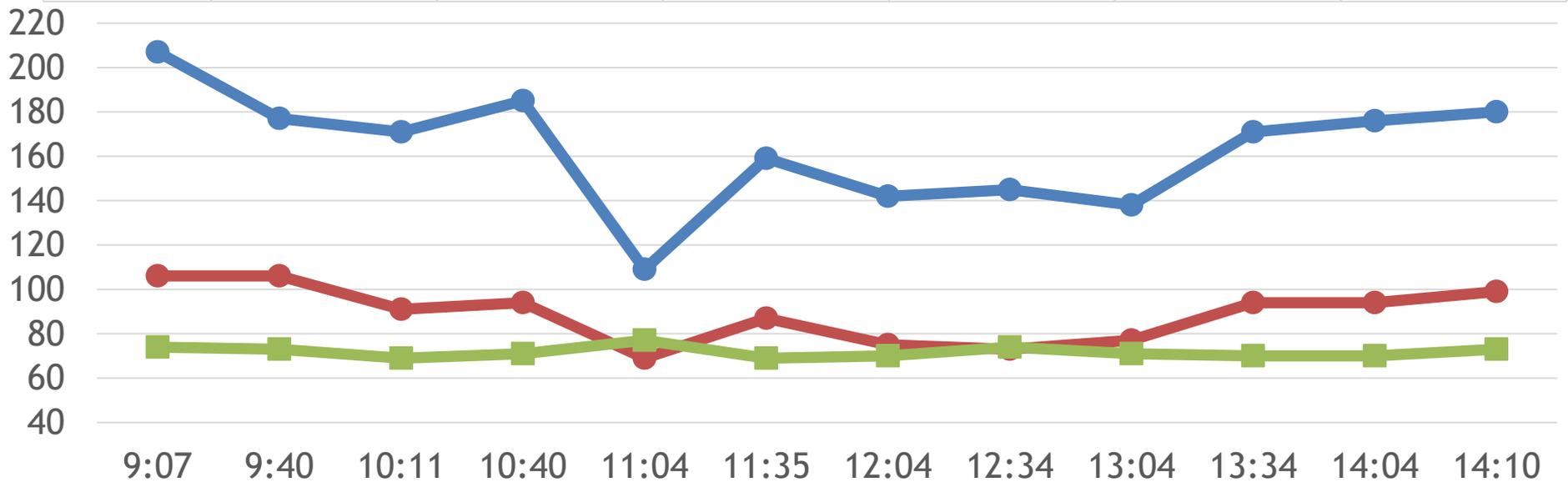
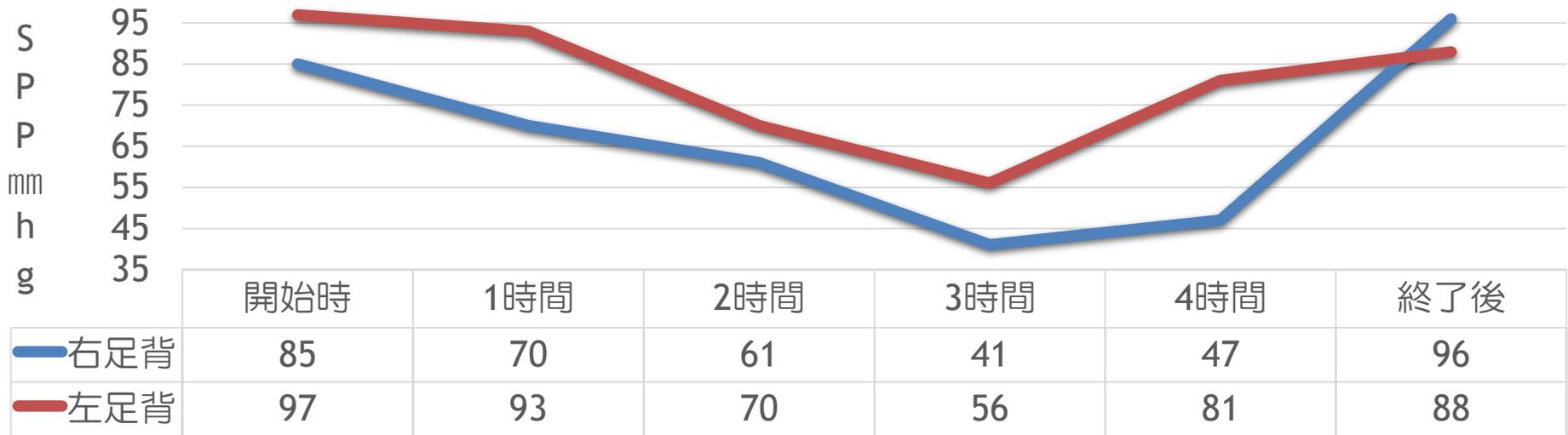


医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

症例② 透析中の血圧とSPPの変化



● 最高血圧 ● 最低血圧 ■ 脈拍

実際のフットケア介入

指導内容

- 自宅でのセルフケア
- 創傷発生予防の必要性
- テープ固定によるスキンケアリスク
- 靴の選択、靴の履き方
- 爪切り看護師介入
- 昇圧剤の服用が与える影響
- 下肢挙上が与える影響
- 透析中のS P P経過

狭窄
狭窄



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

症例② 結果・考察

- 透析前のSPPでは、血流低下なし。
- 透析中のSPPでは、血流低下がみられた。
- 透析中の血圧低下やSPP低下が、下肢の痺れや引っ張られ感、痛みに関連しているのではないか。

⇒ 週3回の足を観れるチャンスを大切にし、早期発見・早期介入し重症化予防に努める必要がある。

症例のまとめ

- ① 早期診断、早期介入によっても治癒困難な事例に遭遇した。
- ② 透析中の下肢の症状には血流低下との関連があるのではないかと示唆された。

目次

1. はじめに
2. 当院外来維持透析患者の背景
3. 実際のフットケア
4. 症例提示
 - 症例① コレステロール塞栓症患者のケア
 - 症例② フットケアと透析中のSPP
5. おわりに



おわりに

「透析患者の足は糖尿病の有無にかかわらず下肢末梢動脈疾患の独立した危険因子」というのは、週3回の透析治療そのものが影響を与えている。

自覚症状の出現する前段階から看護介入をし足を守っていく必要がある。

透析患者のQOLとフットケアは直結しており、フットケアで足を守り、歩行を守ることこそQOLそのものだといえる。

ご清聴ありがとうございました



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis